



2021年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社 ユニカフェ
 コード番号 2597 URL <http://www.unicafe.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5400-5444

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,424	1.5	35		18		110	
2020年12月期第2四半期	7,312	24.2	282		272		2,191	

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 110百万円 (%) 2020年12月期第2四半期 2,296百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年12月期第2四半期	8.24	
2020年12月期第2四半期	164.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	13,830	5,915	42.8
2020年12月期	14,546	5,900	40.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,915百万円 2020年12月期 5,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年12月期		0.00		8.00	8.00
2021年12月期		0.00			
2021年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、消費者の外出自粛、取引先店舗の営業時間短縮や営業自粛等が発生し、受注減少に大きな影響を受けており、いまだ感染拡大の収束を見通せないことから、現時点では当社グループの業績に与える影響額を算定することが極めて困難であるため、2021年12月期の業績予想は未定とさせていただきます。

今後の状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の開示が可能となった時点で改めて公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	13,869,200 株	2020年12月期	13,869,200 株
期末自己株式数	2021年12月期2Q	512,090 株	2020年12月期	522,880 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	13,350,949 株	2020年12月期2Q	13,292,291 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「コーヒーをコアに人と環境にやさしい企業を目指す」の企業理念の下、2020年8月31日に「2020年～2024年中期経営計画（骨子）ResilientPlan2020」を策定し開示しております。このレジリエントプランに基づき、コロナショックへの環境適応のために既存方針の加速を決断し、構造改革の推進及び一杯抽出事業への設備投資、業務用事業におけるプレゼンスの向上、工場再編によるコスト優位性をレジリエントプランにおける成長ドライバーと位置付け、レジリエントカンパニーを目指し取組みを始めております。

また、政府や各自治体のガイドラインに基づき、引続き従業員の感染拡大の抑制に取り組み、お客様へ安全・安心な製品の安定した供給を徹底しながら、業務効率化を図り、経費削減に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間につきまして、工業用コーヒーにおいては、オフィス街における自動販売機およびコンビニエンスストアでの販売回復は遅れているものの、前年の緊急事態宣言による外出自粛等による大幅な販売減少からは回復基調であり、前年を上回る結果となりました。業務用コーヒーにつきましては、外食店舗が中心となるため、依然として休業や時間短縮営業の制限等が生じ、厳しい状況が続きましたが、外食に対する需要の回復及びテイクアウト、物販等の需要拡大を見据えた一杯抽出製品等の企画や提案営業力の強化に取り組み前年を上回る結果となりました。

株式会社アートコーヒーにつきましては、既存取引先との深耕化及び新規取引先への積極的な営業活動を行っているものの、取引先が外食店舗中心であることから新型コロナウイルスの影響を受けており、売上高、数量ともに昨年を下回りました。

以上の取組の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,424百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。

また、利益面では営業損失は35百万円、経常損失は18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は110百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産は、前連結会計年度末より1,189百万円減少し、7,016百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が790百万円、受取手形及び売掛金が234百万円、原材料及び貯蔵品が97百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末より473百万円増加し、6,814百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が518百万円増加し、無形固定資産が10百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より715百万円減少し、13,830百万円となりました。

② 負債の部

流動負債は、前連結会計年度末より394百万円減少し、3,742百万円となりました。その主な要因は、未払金が354百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が811百万円、その他流動負債が20百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末より336百万円減少し、4,173百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が175百万円、繰延税金負債が136百万円減少したことによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より730百万円減少し、7,915百万円となりました。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より14百万円増加し、5,915百万円となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末より2.2ポイント上昇し、42.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ790百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には3,437百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、228百万円(前第2四半期連結累計期間に使用した資金は883百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が19百万円、売上債権の増減による収入234百万円、仕入債務の減少による支出811百万円、減価償却費117百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は277百万円となりました。これは主に、投資計画に基づいた266百万円の有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は283百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出175百万円及び配当金の支払額106百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、消費者の外出自粛、取引先店舗の営業時間短縮や営業自粛等が発生し、受注減少に大きな影響を受けており、いまだ感染拡大の収束を見通せないことから、現時点では当社グループの業績に与える影響額を算出することが極めて困難であるため、未定とさせていただきます。今後の状況の進展や事業動向を踏まえて、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,227,654	3,437,434
受取手形及び売掛金	2,490,892	2,255,966
商品及び製品	478,677	451,796
仕掛品	16,208	44,577
原材料及び貯蔵品	801,070	703,103
その他	191,231	123,746
貸倒引当金	△395	△359
流動資産合計	8,205,340	7,016,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,754,652	5,777,202
減価償却累計額	△2,908,246	△2,955,815
減損損失累計額	△188,175	△188,175
建物及び構築物(純額)	2,658,230	2,633,211
機械装置及び運搬具	5,808,771	5,708,772
減価償却累計額	△4,627,473	△4,547,936
減損損失累計額	△155,481	△155,481
機械装置及び運搬具(純額)	1,025,815	1,005,354
土地	1,942,455	1,942,455
リース資産	15,740	15,740
減価償却累計額	△8,232	△8,232
減損損失累計額	△7,058	△7,058
リース資産(純額)	449	449
建設仮勘定	330,628	895,844
その他	491,244	486,553
減価償却累計額	△391,334	△388,793
減損損失累計額	△57,095	△56,212
その他(純額)	42,814	41,547
有形固定資産合計	6,000,395	6,518,862
無形固定資産		
ソフトウェア	90,957	80,240
無形固定資産合計	90,957	80,240
投資その他の資産		
投資有価証券	84,071	80,748
その他	167,366	136,164
貸倒引当金	△1,435	△1,435
投資その他の資産合計	250,002	215,478
固定資産合計	6,341,355	6,814,581
資産合計	14,546,695	13,830,847

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,203,568	2,391,793
短期借入金	381,250	381,250
未払金	392,234	747,075
未払法人税等	19,728	34,403
賞与引当金	30,240	93,673
資産除去債務	—	5,050
その他	109,544	88,984
流動負債合計	4,136,566	3,742,230
固定負債		
長期借入金	4,006,250	3,831,250
繰延税金負債	140,214	3,369
役員退職慰労引当金	12,829	8,036
退職給付に係る負債	286,929	274,498
資産除去債務	16,380	11,330
持分法適用に伴う負債	—	1,691
その他	46,982	43,255
固定負債合計	4,509,585	4,173,431
負債合計	8,646,152	7,915,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,008,156	2,509,743
資本剰余金	1,302,056	3,694,280
利益剰余金	110,195	220,197
自己株式	△510,926	△500,392
株主資本合計	5,909,481	5,923,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,938	△8,643
その他の包括利益累計額合計	△8,938	△8,643
純資産合計	5,900,542	5,915,185
負債純資産合計	14,546,695	13,830,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	7,312,335	7,424,199
売上原価	5,864,381	6,256,363
売上総利益	1,447,954	1,167,836
販売費及び一般管理費	1,730,931	1,203,133
営業損失(△)	△282,977	△35,297
営業外収益		
受取利息	6	260
受取配当金	932	330
助成金収入	—	28,304
その他	23,495	11,741
営業外収益合計	24,434	40,635
営業外費用		
支払利息	11,507	15,333
持分法による投資損失	—	4,290
その他	2,751	3,811
営業外費用合計	14,258	23,435
経常損失(△)	△272,801	△18,097
特別損失		
固定資産除却損	546	1,515
減損損失	2,170,039	—
特別損失合計	2,170,586	1,515
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,443,387	△19,612
法人税、住民税及び事業税	4,825	7,310
法人税等調整額	△152,345	△136,974
法人税等合計	△147,520	△129,664
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,295,867	110,051
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△103,897	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,191,970	110,051

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,295,867	110,051
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△352	294
その他の包括利益合計	△352	294
四半期包括利益	△2,296,220	110,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,192,232	110,346
非支配株主に係る四半期包括利益	△103,897	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,443,387	△19,612
減価償却費	294,394	117,076
のれん償却額	38,939	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	△35
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,105	63,433
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,821	△17,224
減損損失	2,170,039	—
受取利息及び受取配当金	△939	△590
支払利息	11,507	15,333
有形固定資産除却損	546	1,515
売上債権の増減額(△は増加)	1,324,924	234,926
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,077	96,478
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,074,550	△811,775
持分法による投資損益(△は益)	—	4,290
その他	△214,085	74,618
小計	△839,624	△241,565
利息及び配当金の受取額	934	590
利息の支払額	△10,915	△15,361
法人税等の還付額	—	43,090
法人税等の支払額	△33,984	△15,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	△883,589	△228,960
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114,216	△266,099
無形固定資産の取得による支出	△45,966	△10,297
投資有価証券の取得による支出	△1,002	△537
関係会社株式の売却による収入	177,870	—
貸付金の回収による収入	230	166
その他	11,867	△781
投資活動によるキャッシュ・フロー	28,782	△277,548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,701	△1,726
長期借入金の返済による支出	△175,000	△175,000
自己株式の取得による支出	△87	△213
配当金の支払額	△106,012	△106,770
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282,801	△283,710
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,137,608	△790,220
現金及び現金同等物の期首残高	2,927,417	4,227,654
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,789,808	3,437,434

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月24日開催の第49期定時株主総会において、資本金及び資本準備金の額の減少を決議しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金が2,504百万円、資本準備金が743百万円減少しました。

また、2021年3月24日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行うことを決議し、2021年4月23日に払込手続が完了いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が5百万円、資本準備金が5百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,509百万円、資本準備金が565百万円となっております。

なお、同日付で新株式と同数の自己株式11,000株の消却を実施いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式が10百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が220百万円、自己株式が500百万円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の算定については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前当期純利益または税金等調整前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(追加情報)

会計上の見積もりを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等に関する仮定について重要な変更はありません。